

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	14-002	
PDCA	事務事業名	ごみ処理事業	部課等名	市民経済部 クリーンセンター 管理担当	担当 内線等	片岡 23-3567	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第2節 環境との共生					
		基本施策： 2. 廃棄物対策					
		単位施策： (2) 廃棄物の処理					
	根拠法令等	個別施策： ②廃棄物の適正処理					
対象・目的	燃やせるごみは焼却、燃やせないごみは破碎選別等、ごみを適切に処理することで清潔で快適なまちづくりを実現する。						
	目的を達成するための手段・活動内容						
	焼却施設及び破碎施設の運転維持管理等を業者に委託し、クリーンセンターへ搬入されたごみを適正に処理する。また、環境分析測定、電気保安管理や施設設備及び場内車輛の点検・修繕等を適切に実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①焼却施設で処理したごみ量		33,634	34,053	34,705	トン
		②					
		③					
		事業費		456,993	465,605	471,768	千円
		人件費		17,661	16,497	14,499	千円
		総事業費		474,654	482,102	486,267	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
	①市民1人当たりのごみ処理事業費		4	4	4	千円	
	②						
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①年度末時点での未処理ごみ量	実績値	280	440	430	t以下
			目標値	300	300	300	
		②	実績値				
目標値							
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	
	事業の評価・課題	C					
		ごみ処理施設業務委託業者と連携し、施設の適切な維持管理に努めた。平成30年度は、ごみ焼却施設受電設備の補修工事に伴い、3月に焼却炉を全停止させる必要が生じたため、年度末時点での未処理ごみ量が目標値を上回ったものの、適切にごみ処理を実施できた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		知多南部広域環境組合による新施設が稼働する令和4年4月までの間、現施設において、ごみ処理を安定かつ適正に処理していく必要がある。今後も、機器等の日常点検や定期補修を始め、環境分析測定や電気保安管理などの各種維持管理業務を継続する。					
	令和元年度の目標	成果指標		目標値		単位	
		①年度末時点でのピット外の仮置きごみ量		0		t	